

サッカー療育 平山さんと契約

元日本代表
仙台の企業、本県で事業



サッカーを取り入れた放課後等デイサービス事業のアンバサダーに就任した平山相太さん（ゼンシン提供）

本県でサッカースクールなどを運営するゼンシン（仙台市、前田忠嗣社長）は、同社が展開する放課後等デイサービス事業「アバンツアーレスポーツ」のアンバサダーとして、サッカー元日本代表の平山相太さん（36）と契約を結んだと発表した。

障害のある子どもたちにもスポーツを楽しんでほしいと、サッカーを中心とした療育事業を、本県と宮城、沖縄の計6施設で展開して

いる。今回の契約では、同社が顧問の本郷一夫東北大名誉教授の監修で進めている「障がい児の運動発達と社会性発達の相関に関する研究」に平山さんが協力する。

平山さんは長崎・国見高時代に全国高校選手権を制し、J1のFC東京でプレイし、仙台に所属していた。2018年1月、けがのため引退した。今回の契約について「これまで知っていたようで知らなかつ

た分野に関わり、興味が湧いてきている」と話している。今月9日は、同社が山形市に本年度設置した専用コートでクラブチームの児童を対象に技術指導を行う。

同社は、研究成果を今秋の日本発達心理学会で発表する予定。フランチャイブなどで同社のサッカー療育を取り入れ、研究に協力する放課後等デイサービス事業者の募集中。問い合わせは同社022（796）9941。